

科目名	デザイン企画・伝達学				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2023年度 後期	単位数	2		
担当教員	北本 雅久				
内容および計画	平面・立体を問わず、全てのデザイン表現には「企画力」と「伝達力」が求められる。本授業では「観光とデザイン」をテーマに、デザイン表現における「企画力」「伝達力」の役割を理解する。デザインによる観光資源の発信方法について、デザインの視点から調査～企画～制作を一貫して考察・体験することで、「企画力」と「伝達力」を習得していく。(内容および計画は変更の可能性あり)				
1	観光案内図のデザインにおける企画力・伝達力の関係について				
2	観光案内図のデザイン企画 調査 現地の状況を正確に把握し、企画内容に活用する				
3	観光案内図のデザイン企画 調査結果の発表 調査内容を共有し、理解を深める				
4	観光案内図のデザイン企画 企画 効果的に発信する方法を考察する				
5	観光案内図のデザイン企画 調査 企画内容を現地で検証し、改善する				
6	観光案内図のデザイン企画 デザイン 魅力を効果的に伝える構成を考える				
7	観光案内図のデザイン企画 デザイン 魅力を効果的に伝える構成を考える				
8	観光案内図 プレゼンテーション、講評				
9	土産物のデザインにおける企画力・伝達力の関係について				
10	土産物 調査 地域の状況を正確に把握し、企画内容に活用する				
11	土産物 企画 効果的に発信する方法を考察する				
12	土産物 企画 効果的に発信する方法を考察する				
13	土産物 デザイン 魅力を効果的に伝える構成を考える				
14	土産物 デザイン 魅力を効果的に伝える構成を考える				
15	土産物 プレゼンテーション、講評				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
特定の教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。					
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
課題 1					50
課題 2					50

課題提出は特に重視するので、授業時間内に終わらなかった課題は、授業時間外に作業を進める必要がある。

学習到達目標	デザイン活動における「企画力」と「伝達力」を身につけ、歴史・文化・環境などに配慮したツールをデザイン提案できる。
先修条件	「CG 論演習」を受講するなど、デザインアプリケーションの基本的な操作方法を習得していると望ましい。
実務経験	
その他	日頃から様々なデザイン表現を観察する習慣をつける。グループで行う課題もあるため、積極的にコミュニケーションを図るようにすること。